

百の診療所より一本の用水路を

劇場版

# 荒野に希望の灯をともし

朗読 石橋蓮司 / 語り 中里雅子

取材 柿木喜久男 / 大月啓介 / アミン・ウラー・ベグ

CG 平野雄一 / 音効 渡辺真衣 / 大島亮 / 演奏 中村幸

編集 櫻木まゆみ / 撮影・監督 谷津賢二 / 構成・制作 上田未生

文化庁文化芸術振興費補助金 / 独立行政法人 日本芸術文化振興会

企画 ペシャワール会 / 製作 日本電波ニュース社 2022年 / 日本 / カラー / 90分

20年以上に渡り撮影した映像素材から 医師 中村哲の生き様を追うドキュメンタリーの完全版！

# 武力で平和は守れない

これは「生きるための」戦いだ。

アフガニスタンとパキスタンで、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた男、  
医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設してきた。  
なぜ医者が井戸を掘り、用水路を建設したのか？  
その答えは、命を見つめ続けた中村の生き様の中にあり、  
私たちはこの映画で中村が生きた、その軌跡をたどることになる。



「彼らは殺すために空を飛び、  
我々は生きるために地面を掘る。」 —中村哲

中村の誠実な人柄が信頼され、医療支援が順調に進んでいた2000年。思いもよらぬ事態に直面し、中村の運命は大きく変わる。それが“大干ばつ”だ。渇きと飢えて人々は命を落とし、農業は壊滅、医療で人々を支えるのは限界だった。その時、中村は誰も想像しなかった決断をする。用水路の建設だ。大河クナールから水を引き、乾いた大地を甦らせるというのだ。しかし、医師にそんな大工事などできるのか？戦火の中で、無謀とも言われた挑戦が始まった。

「ここには、天の恵みの実感、誰もが共有できる希望、  
そして飾りのないむきだしの生死がある。」 —中村哲

専門家がいらないまま始まった前代未聞の大工事は、苦難の連続だった。数々の技術トラブル、アフガン空爆、息子の死…中村はそれらの困難を一つ一つ乗り越え、7年の歳月をかけ用水路は完成。用水路が運ぶ水で、荒野は広大な緑の大地へと変貌し、いま65万人の命が支えられている。そして—。

2019年12月。さらなる用水路建設に邁進する最中、中村は何者かの凶弾で命を奪われた。その報にアフガニスタンは悲しみに沈み、ニューヨークタイムズ、BBCなどが悲報を世界に伝えた。あれから2年半。日本ではその生き方が中学や高校の教科書で取り上げられ、母校の九州大学はその思索と実践を研究し始めた。中村の生き様は静かに語り継がれ、輝きを増しながら人々を励まし続けるだろう。そして用水路はこれからもアフガン人の命を支え続けていくだろう。

戦火のアフガニスタンで21年間継続的に記録した映像から、  
これまでテレビで伝えてきた内容に未公開映像と  
現地最新映像を加え劇場版としてリメイク。  
混沌とする時代のなかで、より輝きを増す  
中村哲の生きざまを追ったドキュメンタリー！



**2024年3月19日(火) 19:00 上映 (18:30 開場)**  
**大田区民ホール・アプリコ 小ホール**

前売入場券 1000円  
定員 170名 (全席自由)  
※当日券はありません

チケットご購入方法は ①FAX03-3734-1584 またはお電話で希望枚数・連絡先等をお知らせください。②下記QRコードからお申し込み。(チケット・郵便振替用紙を送らせていただきます。なお、チケット代の送金手数料ご負担願います。) ③②の販売受付：3月12日まで。③主催団体事務所で直接購入。③の販売受付：3月18日まで。



個人情報保護法の定めに従い、個人情報については適正に保護および管理を行います。ご本人の同意がない限りは第三者に提供いたしません。

■お問い合わせ・チケット販売：東京南部法律事務所（東京都大田区蒲田 5-15-8 蒲田月村ビル 4階 TEL 03-3736-1141）

主催：城南保健生活協同組合 新日本婦人の会大田支部 東京民主医療機関連合会西南ブロック 東京南部法律事務所